

# 平成28年度社会福祉法人長洲町社会福祉協議会事業報告

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

## I 総務課

少子高齢化の進展により、家庭内、地域社会のつながりも希薄化し、相互扶助の精神も薄れゆく中、引きこもりや社会的孤立の問題、権利擁護、生活困窮、子育て世帯、青少年の不登校やいじめ、引きこもりなど新たな福祉課題・生活課題が生じています。

そこで、「地域で求められる新たな支え合い」をふれあい地区社協活動を中心に、地域住民の方々を主体とした地域福祉活動の支援と福祉サービスの制度の狭間にある課題への対応を行いました。

### 1 理事会、評議員会の開催

#### (1) 理事会

回数	開催日時	提出議案
第1回	平成28年5月10日(火)13:30～	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員給与等に関する規程の一部改正について</li> <li>評議員の選任について</li> </ul>
第2回	平成28年5月31日(火)10:00～	<ul style="list-style-type: none"> <li>会長・副会長の選任について</li> <li>職務代理者の順位について</li> <li>平成27年度予算流用について</li> <li>平成27年度事業報告及び決算について</li> <li>平成28年度第1号補正予算(案)について</li> <li>平成27年度日赤募金会計決算について</li> </ul>
第3回	平成28年11月25日(金)13:30～	<ul style="list-style-type: none"> <li>上半期事業実施報告について</li> <li>介護保険からの撤退について</li> </ul>
第4回	平成29年1月20日(金)13:30～	<ul style="list-style-type: none"> <li>規程の制定及び定款の変更について</li> </ul>
第5回	平成29年3月27日(月)13:00～	<ul style="list-style-type: none"> <li>評議員の選任について</li> <li>ふれあい地区社協活動支援金交付要綱の一部改正について</li> <li>規程の一部変更について</li> <li>平成29年度事業計画(案)について</li> <li>一般会計・特別会計予算(案)について</li> <li>業務委託契約について</li> <li>平成29年度日赤募金会計予算(案)について</li> </ul>

#### (2) 評議員会

回数	開催日時	提出議案
第1回	平成28年5月10日(火)14:30～	<ul style="list-style-type: none"> <li>理事の選任について</li> </ul>
第2回	平成28年5月31日(火)13:30～	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度事業報告及び決算について</li> <li>平成28年度第1号補正予算(案)について</li> </ul>
第3回	平成28年11月25日(金)15:00～	<ul style="list-style-type: none"> <li>上半期事業実施報告について</li> <li>介護保険からの撤退について</li> </ul>
第4回	平成29年1月20日(金)15:00～	<ul style="list-style-type: none"> <li>定款変更について</li> </ul>

第5回	平成29年3月27日(金)15:00～	・平成29年度事業計画(案)について ・一般会計・特別会計予算(案)について
-----	---------------------	---

(3) 監査

回数	日 時	内 容
第1回	平成28年5月24日(火)13:30～	・平成27年度決算監査

## II 地域支援の重点事業の成果及び実績

### 1 地域住民の参加と協力による地域福祉活動の推進

本会が行う地域福祉活動の母体となる「ふれあい地区社協」に対し、支援を行うとともに長洲町からの受託事業に取組み、ふれあい地区社協の活動の充実と拡充及び、住民主体の地域福祉活動推進に努めました。

#### (1) ふれあい地区社会福祉協議会

##### ①役員会・代表者会議

区 分	期 日	場 所
第1回役員会	平成28年4月28日(木)午後1時30分～3時	ふれあいセンター
第2回役員会	平成28年8月12日(金)午前10時～11時30分	
第3回役員会	平成28年12月8日(木)午前10時～11時30分	
第4回役員会	平成29年2月14日(火)午後1時30分～3時	
第1回代表者会	平成28年5月18日(水)午後1時30分～3時	ふれあいセンター
第2回代表者会	平成29年2月21日(火)午後3時～4時	長洲町役場3階

##### ②ふれあい地区社協校区別研修会

実施日時	校 区	内 容	場 所
平成28年 7月22日(金) 午前10時～正午	六栄校区 参加者 44人	「地域包括支援センター10年の歩みを振り返って、今皆さんにお伝えしたいこと」 ～生き生きと誰もが支え合いながら、思いやりのあるまちを目指すために～ 地域包括支援センター 森川敬子氏	地域福祉 センター
平成28年 8月23日(金) 午前10時～正午	長洲校区 参加者 46人		町民研修 センター
平成28年 9月13日(火) 午前10時～正午	清里校区 参加者 26人		梅 田 公民館
平成28年 10月20日(木) 午前10時～正午	腹赤校区 参加者 31人		清源寺 公民館

##### ③ふれあい地区社協合同研修会開催

地域住民相互の親睦と融和を深め、より一層のふれあい地区社協活動に取り組めるようまた、講演会を通して意識の高揚を図り、新たな活動の場として開催しました。

開 催 日	内 容	参加者	場 所
平成29年 2月14日(火) 午前9時30分～	講演 「口からの健康」で「健康寿命」を伸ばそう そして笑顔あふれる街づくりを	167人	ながす未来館

午後1時	講師 日本赤十字社健康管理センター 名誉所長 小山和作氏 講演 「口腔機能の老化対策 ベロタッチ」 講師 くまもと歯っぴーかむかむひごまる協議会 歯科医師 吉良 直子氏 地域物産店 鷲巣区 永方区 西新町区 大明神区		
------	---	--	--

(2) 共同募金配分事業

「共同募金配分事業」として、老人福祉活動、障がい児・者福祉活動、児童・青少年福祉活動、母子・父子福祉活動及び福祉育成・援助活動を実施しました。

①老人福祉活動

a 長洲町老人クラブ連合会 活動支援

開催日	内容	場所
平成28年9月29日(水)	老人クラブ連合会と玉東町オレンジクラブとの合同研修会参加	中央公民館
平成28年11月10日(水)	老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会への協力	長洲町スポーツセンター グラウンド

②障がい児・者福祉活動

a 長洲町身体障害者福祉協議会 活動支援

開催日	内容	場所
平成28年10月28日(金)	玉名郡身体障害者球技大会協力援助	玉東町営グラウンド

③障がい児・者施設夏祭り協力支援

開催日	内容	場所
平成28年8月6日(土)	ひまわりの里夏祭り出店協力及び職員派遣等支援	腹赤小学校グラウンド
平成28年11月3日(木)	クリーンウォーク (共催：長洲町手をつなぐ育成会)	国道501号線沿い 長洲駅から金魚と鯉の郷広場までの沿線

④児童・青少年福祉活動

a 新小学一年生への援助

入学児童125人分の入学祝として(クーピー)を贈呈しました。

⑤母子・父子福祉活動

a 新中学一年生を持つひとり親家庭を対象に、中学校入学支度金を19人に対して助成を行いました。

⑥福祉活動育成・援助活動

a ボランティア協力校の依頼に基づき総合的な学習の時間に福祉を身近に感じる体験学習を行うため、講師の紹介や、社協職員の指導による車いす操作体験などを行い、福祉教育の推進を図りました。

(3) 実習生受入れ

学校人	受入期間	内容	受入数
九州看護福祉大学	平成28年8月1日(木)～9月1日(金) 平成29年2月6日(月)～3月10日(金)	相談援助実習	2人

#### (4) 総合学習

学校名	実施日	内容	講師	参加者数
長洲中	平成28年11月15日(火)	車いす体験	社協職員	33人
清里小	平成28年7月5日(火)	福祉について・車いす体験		15人
六栄小	平成28年9月15日(火)	車いす体験		50人
腹赤小	平成28年6月30日(木)	車いす体験・高齢者疑似体験		35人

### 2 福祉サービス相談窓口としての機能の充実

#### (1) 心配事相談所

毎月第一火曜日に財産、家族問題等の相談について弁護士による相談所を開設しました。

相談内容	住宅	家族	離婚	人権・法律	財産	老人福祉	苦情	その他	合計
件数	3件	2件	2件	5件	7件	1件	1件	4件	25件

#### (2) 生活福祉資金貸付・小口貸付

低所得・障がい者・高齢者世帯等に、県社協の資金貸付事業の「生活福祉資金貸付事業」や本会の小口資金貸付事業「福祉金庫」で経済的に支えるとともに、生活の安定や自立支援に向け対応しました。

##### ①生活福祉資金貸付事業

種別	相談件数	申請件数	決定件数	不承認件数	取下げ件数	対象外・他制度等
福祉資金貸付	11件	1件	1件	0件	0件	10件
教育支援資金貸付	3件	1件	1件	0件	0件	2件
総合支援資金貸付	7件	0件	0件	0件	0件	7件
緊急小口(特例貸付)	4件	4件	4件	0件	0件	0件
計	25件	6件	6件	0件	0件	19件

##### ②福祉金庫貸付事業

種別	相談件数	申請件数	決定件数	不承認件数	取下げ件数	対象外・他制度等
福祉金庫貸付	17件	4件	4件	0件	0件	13件

### 3 地域福祉権利擁護事業

判断能力が不十分で日常生活を営むのに支障がある方に対して、安心して暮らせる環境整備、生活支援等により生活上の安定及び負担の軽減に努めました。

実利用数	新規契約	契約解除	支援員数	対応回数
7人	3人	1人	4人	401回 (支援員・職員対応)

※ 実利用数内訳 認知症2人 知的障害者2人 その他1人

### 4 預かりサービス

地域福祉権利擁護事業の補完的サービス、または対象外の方も利用できるサービスとして預かりサービスを平成26年4月1日より実施しました。

実利用者数 5人 対応回数 495回  
 (実利用数内訳 認知症1人 精神障害者1人 その他2人)

5 ボランティアセンター事業の推進

(1) 町内小・中学生による「児童館まつり」や「クリーンウォーク」、「子どもミニデイサービス」などのボランティア活動体験の場を設けました。

(2) ボランティア協力校指定推進事業

長洲町における小・中学校へのボランティア活動の普及を図り、本会と各学校の連携を密にするため、町内小学校4校、中学校2校の計6校をボランティア協力校に指定し、活動支援金の交付を行いました。

6 災害炊飯体験活動（赤十字講習会）

(1) 日赤奉仕団の講習会開催

赤十字奉仕団としての自覚を促し、意識の高揚を図るとともに、活動するために必要な知識と技術を身に付けることを目的に開催しました。

実施日	内容	講師	場所
平成28年6月19日(日)	心肺蘇生法及び災害が起こった時の対応について	日赤 救急法指導員 坂本 清美 氏	中央公民館

7 受託事業

(1) 安心生活基盤構築事業

誰もが安心して日常生活を維持できるよう、地域住民相互の支え合いの取組として有償ボランティア「ささえあい」事業を展開していきました。

平成28年8月4日(木) 第1回有償ボランティア推進委員会開催

有償ボランティア地区説明会実績報告

(単位：回)

(単位：件)

校区	行政区	開催日			回数	協力 会員数	利用 会員数
腹赤校区	平原	9月10日			1	1	
	清源寺					1	
	上沖洲					1	
	腹赤						
	腹赤新町	7月14日	10月15日		2	10	
六栄校区	折地	7月5日			1	1	1
	赤崎	6月26日	7月17日		2	1	
	高田	9月10日	1月29日		2	13	
	鷺巣	7月1日			1		
	立野	8月7日	12月4日	12月29日	3	5	1
	向野					1	
	宮崎	7月3日			1	2	1
	赤田	7月3日			1		
	葛輪	7月16日	9月10日		2	1	1
	永方	7月12日			1	7	2
	塩屋	6月22日			1		
	古城	7月8日	10月7日		2	1	1

校 清 区 里	建浜	9月1日			1	3	
	駅通り	8月19日	12月2日		2	10	6
	梅田	8月1日			1		
長洲 校 区	出町	6月8日	10月7日		2	1	2
	新町	6月19日	9月18日		2	1	
	西新町	7月6日			1		
	宮の町	7月3日			1		2
	松原	6月17日	8月5日	2月9日	3		
	新山	1月18日			1	7	7
	宝町	7月5日			1		
	磯町	7月1日			1		1
	上町	6月19日			1	1	1
	中町	7月10日			1		
	下本町	6月5日			1		
	今町	7月29日			1	1	1
	下東	7月9日	12月2日		2	3	4
	西荒神						
	東荒神	9月21日			1	2	2
	大明神						
合 計					43	74	33

その他説明会

開催日	団体名	開催日	団体名
7月7日(木)	婦人会役員	7月12日(火)	民生委員児童委員協議会定例会
8月1日(月)	老人会理事会	9月28日(水)	六栄校区区長会
10月1日(土)	長洲校区一人暮らし高齢者のつどい		
12月6日(火)	清里校区一人暮らし高齢者のつどい		
2月18日(土)	空飛ぶグループ(ボランティア団体)		

有償ボランティア利用実績報告

(単位:件)

行政区	利用内容	11月	12月	1月	2月	3月	計
下東	掃除	1	2	1	1	1	6
	ゴミ出し		3	12	8	9	32
	買物			4	5	3	12
駅通り	片付け・掃除					11	11
	ゴミ出し				8		8
	買物		5	5		3	13
新山	掃除				2		2
宮の町	掃除					1	1
出町	ゴミ出し					5	5
葛輪	ゴミ出し					4	4
東荒神	ゴミ出し					5	5
合 計		1	10	22	24	42	99

(単位：件)

利用内容	11月	12月	1月	2月	3月	計
掃除・片付け	1	2	1	3	13	20
ゴミ出し		3	12	16	23	54
買物		5	9	5	6	25
合計	1	10	22	24	42	99

## (2) 生活困窮者総合相談支援事業

生活困窮者自立支援法が平成27年4月1日に施行され、生活保護に至る前から生活困窮者の相談に対応し生活困窮者が抱える課題を把握するとともに、困窮状態から早期に脱却することを目的に包括的な支援に取り組みました。

相談件数 31件 (内 継続支援中10件、他機関へ繋ぐ8件、終結13件)

## 8 子育て支援・児童健全育成事業の推進

## (1) 子育て支援センター事業

子育て支援の拠点として、子育てに関する関係機関との調整を図り、相談や指導を行い、孤立しがちな子育て期の親子が安心して過ごせる場所の提供や同世代の子を持つ親同士の情報交換や相談、交流をできるように「にこにこサロン」及び「1歳の誕生日会」などを開催しました。

また、子育て支援センターの行事や内容を周知する為、情報誌「にこにこ通信」の発行を行い、子育てサークルを支援し、より多くの町内の方に「子育て支援センター」を知っていただけるように、行事内容を充実させ実施してきました。

開館日	利用者延人数	一日平均利用者
308日	幼児 4184人、大人 3,282人	24人

①にこにこサロン (毎月第1木曜日) 延利用者 大人 204人 子ども 250人

4月：交流会	10月：ミニ運動会
5月：こいのぼり	11月：子育て講演会 (草野幸栄子氏)
6月：歯について学ぼう	12月：クリスマス会
7月：七夕	1月：簡単クッキング
8月：水遊び	2月：豆まき
9月：幼児安全法 (日赤熊本県支部)	3月：ひなまつり・送る会

②はいはい・よちよち大会 (年2回)

開催日	はいはいの部	よちよちの部	かけっこの部	場所
平成28年4月27日(水)	3人	4人	4人	子育て支援センター
平成28年10月26日(水)	16人	10人	14人	

③パステルアート教室 (年1回)

開催日	参加者	講師	場所
平成28年11月11日(金)	大人11人、子ども12人	田成香代先生	子育て支援センター

④クッキング教室 (年1回)

開催日	参加者	講師	場所
平成29年1月12日(木)	大人11人、子ども12人	佐藤慶子先生	子育て支援センター

⑤親子ふれあいコンサート (年1回) ※世代間交流事業

開催日	参加者	講師	場所
平成28年9月22日(木)	大人20人、子ども17人	倉岡弘子先生 池田千紘先生	子育て支援センター

⑥ベビーマッサージ (年4回)

開催日	参加者	講師	場所
平成28年4月20日(水)	大人10人、子ども11人	萩尾沙織先生	子育て支援センター
平成28年7月20日(水)	大人22人、子ども23人		
平成28年10月19日(水)	大人14人、子ども15人	白浜 藍先生	
平成29年1月20日(金)	大人7人、子ども7人		

⑦人形劇鑑賞会 (年2回) ※世代間交流事業

開催日	参加者	公演者	場所
平成28年8月19日(水)	大人19人 子ども22人	人形劇団 ぱれっと	子育て支援センター
平成29年3月18日(火)	大人14人 子ども13人		

⑧親子コミュニケーション体操 (年3回)

開催日	参加者	講師	場所
平成28年6月15日(水)	大人13人 子ども16人	中山里佳先生	子育て支援センター
平成28年9月14日(水)	大人12人 子ども14人		
平成28年12月14日(水)	大人9人 子ども10人		

⑨リトミック (年3回)

開催日	参加者	講師	場所
平成28年7月11日(月)	大人14人 子ども16人	上田雅美先生	子育て支援センター
平成28年11月14日(月)	大人8人 子ども9人		
平成29年3月6日(月)	大人14人 子ども14人		

⑩1歳の誕生会 (年12回) 利用者数 大人61人 子ども59人

場所 : 子育て支援センター

参加者 : 町内の1歳を迎える幼児とその保護者

⑪ごきげんタイム(毎週火曜日) 利用者数 大人498人 子ども644人

場所 : 子育て支援センター

内容 : 手遊び・リズム遊び・折り紙・シール遊び・お話会・制作など

⑫地域支援活動・幼児健診支援・サークル支援活動 等

町で行われる「7ヶ月健診」などの支援や子育てサークル「でてこんね～」の支援等を行いました。

(2) ファミリーサポート事業

幼児・児童を子育て中の保護者が「安心して楽しく子育てができるよう」援助を受ける方と、援助を行う方との会員登録制度による相互援助活動により、家庭的保育の支援を行う体制をとりました。

(3) 児童館事業

児童に健全な遊びの場を与え、健康を増進し、情操を豊かにしいつでも気軽に利用できる環境づくりに努め、児童館の周知や各機関との連携を図りながら少年期の子育て支援を行いました。

①児童館まつり

開催日 : 平成28年5月14日(土)

場所 : ふれあいセンター

参加者 : 大人 55人 子ども 150人 幼児 62人

中学生ボランティア 14人 高校生ボランティア 4人

大学生ボランティア 7人 町各団体ボランティア 15人 計 307人

②児童館クラブ（年12回） 会員数 37人 利用者数 348人

4月:交流会 8月:ものづくり 12月:クリスマス会  
5月:児童館まつり 9月:料理教室 1月:段ボールクラフト  
6月:パステルアート 10月:節電について学ぼう 2月:ヤルトお腹の教室  
7月:トランポリン教室 11月:ケーキ作り 3月:館外活動

③ビデオシアター(毎月1回) 延利用者数 大人82人 子ども140人 幼児127人

場 所 : 中央児童館(年1回) こどもの海保育園

内 容 : ビデオ鑑賞会

④学べる道場（年1回）

開催日	参加者	内 容	講 師
平成28年6月25日(土)	9人	スイーツデコ	児童館職員

⑤カルチャー教室（書道・郷土料理）

開催日	内 容	参加者	講 師	場 所
平成28年7月25日(月)	書道	児童12人	竹本みどり先生	中央児童館
平成28年8月11日(木)	料理教室	児童13人 大人8人	田上蘭子先生	すこやか館 調理室
平成28年10月8日(土)	料理教室	児童7人 大人5人	田上蘭子先生	すこやか館 調理室

⑥ジュニアリーダー研修会（年1回）

開催日	参加者	内 容	場 所
平成28年8月3日(水)	児童15人	体験活動	菊池少年自然の家

⑦I pad 教室（世代間交流事業）

開催日	参加者	講 師	場 所
平成28年7月27日(土)	児童14人 塩屋区10人	塩屋区のおじいちゃん・おばあちゃん	塩屋公民館

⑧親子ふれあいコンサート（世代間交流事業）長洲町子育て支援センターと合同事業

開催日	参加者	講 師	場 所
平成28年9月22日(木)	児童10人	倉岡弘子先生 池田千紘先生	子育て支援センター

⑨人形劇鑑賞会（年2回、世代間交流事業）長洲町子育て支援センターと合同事業

開催日	参加者	公演者	場 所
平成28年8月19日(水)	児童15人	人形劇団 ぱれっと	子育て支援センター
平成29年3月18日(火)	児童9人		

⑩クリスマス会

開催日	参加者	内 容	場 所
平成28年12月24日(金)	40人	パネルシアター ゲーム	中央児童館

### ⑪新春書初め大会

開催日	参加者	講師	場所
平成29年1月6日(金)	24人	竹本みどり先生	児童館2階

### ⑫出前講座(長洲町内小学校 学童)

長洲町にある六栄・腹赤・長洲・清里小学校の4つの学童へ出前講座授業をしました。(夏休み期間中)きらきらくるくるを制作しました。

## Ⅲ 介護保険事業

### 1 居宅介護支援事業

- (1) 本年度は、居宅介護支援事業所は1人体制となったために、他の居宅介護支援事業所との関係をより重視し、連携が密に図れるように努めました。
- (2) 当居宅介護支援事業所依頼者に対しまして、重度化を予防し自立に向けての適切な介護予防プランを作成できるように努めることができました。
- (3) 今後、居宅介護支援専門員として医療、福祉、地域との連携を連携を高めることがより重要になってくるため、関係機関との協働を図りながら、ネットワーク作りの構築に努めることができました。
- (4) 重度者や認知症高齢者の状況把握においては、より、きめ細かい対応に努めながら個人情報やプライバシーの保護に努めることができました。
- (5) 法令遵守に努め専門職としての知識をさらに高めるために、研修会などにも積極的に参加し意識の向上に努めることができました。

ケアプラン作成目標値：介護プラン年間	336件	／	予防プラン年間	24件
ケアプラン作成実績値：介護プラン年間	263件	／	予防プラン年間	10件
達成率：76.0%				

事業名	年度	開所日数	年間延人数	実人数
居宅介護支援事業	H28	245日	273人	31人
	H27	245日	921人	107人
	差	0日	-648人	-76人

### 2 訪問介護事業

- (1) 利用者が可能な限り、その人らしい日常生活が営まれるようにその人が有する能力に応じた自立支援と各種サービス、身体介護や生活援助の提供に取り組みました。
- (2) 認知症利用者への対応においては尊厳を持って接し、より一層の知識を深めるための課内研修を実施しました。
- (3) 利用者へのサービス内容の均一化を図るための、通常業務における申し送りや連絡事項の明文化に努めました。
- (4) 自立支援に向けたサービス内容の見直しと、質の高い居宅サービス計画に結びつけるために地域包括支援センターや他の居宅介護支援専門員との連携を図りながら、課題解決に取り組みました。
- (5) 介護保険制度に即した事業展開と効率的な勤務体制の見直しを図り、サービスの質の低下を招かないように従業員一人ひとりが自己責任を意識し、自主的に業務に取り組むことができました。
- (6) サービス計画書等、必要な帳票が不足なく作成できるよう努めましたが、一部遅れることがありましたが、その都度、改善に努めました。

目標値：訪問介護	4,080 時間	介護予防訪問介護	1,980 時間
達成値：訪問介護	3,386 時間	介護予防訪問介護	1,051 時間
達成率：73%	年間 4,437 時間		

事業名	年度	開所日数	年間延時間	実人数
訪問介護事業	H28	334 日	4,437H	46 人
	H27	365 日	6,589H	62 人
	差	-31 日	-2,152H	-16 人

### 3 障がい者自立支援事業

- (1) 障がいの程度に合わせた適切なサービス提供を行い、社会参加の促進と在宅生活が安心しておくれるよう支援ができました。
- (2) サービス提供に必要な情報の共有を図るために、伝達研修を行い従業員のスキルアップに努めました。
- (3) 障がい者の方が安心した在宅生活の維持・向上ができるよう、町福祉保健介護課の担当者及び支援相談員との連携を円滑に努めることができました。
- (4) 事務文書の簡素化に努め、効率的な勤務体制をとり、サービス業務に従事することができました。

派遣目標：年間 1,344 時間	達成率：53%	年間 706 時間
------------------	---------	-----------

事業名	年度	開所日数	年間延時間	実人数
障がい者自立支援事業	H28	334 日	706H	6 人
	H27	363 日	1,245H	6 人
	差	-29 日	-539H	0 人

### 4 地域支援事業（町受託）

#### (1) 訪問型サービスA事業

新総合事業の趣旨に沿ったサービス内容の充実に努め、介護保険事業（要支援1・2）から地域支援事業（訪問型サービスA）へ移行された方の不安解消に努め、自立に向けた意識づけができるような援助を行いました。

事業名	年度	開所日数	年間延時間	実人数
訪問型サービスA事業	H28	334 日	1,253H	37 人
	H27	268 日	996H	30 人
	差	66 日	257H	7 人

## IV 地域包括支援課

### 1 包括的支援事業（地域包括支援センター）

#### (1) 介護予防ケアマネジメント業務

要支援認定者及び基本チェックリストの該当者で利用対象者と判断される方々を要介護状態にならないように予防することと、その心身の状況やその置かれている環境、その他の状況に応じて、対象者が自らの選択に基づき、介護予防事業及びその他、適切な事業が包括的に効率的に実施されるよう必要な支援を行ないました。今後、対象となる高齢者がどのような生活をしたいのかという具体的な日常生活上の目標を明確

にし、その目標を対象者、家族、事業実施担当者が共有することと対象となる高齢者自身の意欲を引き出し、自主的な活動が取り組めるように支援しました。

(2) 総合相談支援業務  
(相談実績報告)

相談関係	相談回数	相談関係	相談回数
本人	1,100 件	区長	15 件
家族	314 件	近隣	8 件
関係機関(行政・社協)	94 件	医療機関	127 件
ケアマネ・介護サービス事業	131 件	その他	5 件
民生委員	56 件	合 計	1,850 件

(相談対象者との関係)

相談方法	相談回数
来所	515 回
電話	849 回
訪問	374 回
情報提供	82 回
その他	30 回
合 計	1,850 回

(相談内容)

相談内容	相談回数
介護に関する事	298 回
介護保険に関する事	499 回
地域支援こと事業に関する事	391 回
健康管理や医療保険に関する事	182 回
福祉サービスに関する事	358 回
日常生活に関する事	84 回
高齢者虐待に関する事	21 回
権利擁護・成年後見に関する事	9 回
消費者被害に関する事	8 回
合 計	1,850 回

(3) 権利擁護業務  
(相談対応)

相談内容	相談件数
高齢者虐待に関する事	21 件
権利擁護・成年後見に関する事	9 件
消費者被害に関する事	8 件

(権利擁護に係る研修会)

介護サービス事業所の職員を対象に、年齢からくる物忘れや認知症への対応、それに障害等によって日常的な金銭管理や重要な財産管理を行うことが困難になり、それに伴う不利益を被る可能性のある高齢者が利用できる「地域福祉権利擁護事業」と「成年後見制度」について周知及び利用を促し、長洲町の高齢者権利擁護の推進に資することを目的として実施しました。

日 付	内 容	人 数
8 月 18 日 (木)	「地域福祉権利擁護事業及び成年後見制度について」 講師：熊本県地域福祉権利擁護センター所長 米田 進 氏	70 人

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

高齢者が住み慣れた地域で暮し続けることができるよう、個々の高齢者の状況変化に応じた適切なケアマネジメントの長期的な実施及びケアマネジャーの技術的向上のため、ケアマネジャーの日常的個別指導並びに支援困難事例等への指導・助言、ケアマネ

ジメントへの公正・中立性の確保を図るため、地域のケアマネジャーの後方支援に努めともに、多職種の連携・協働による長期継続ケアの支援を行ってきました。

(相談対応の回数)

支援内容	回数	支援内容	回数
ケアマネジメント	41	制度説明・確認	1
社会資源の紹介	2	研修・学習	0
主治医連携	1	個人の悩み事相談	0
地域包括支援センター内連携	4	同行訪問	5
対人援助技術	3	その他	3

(研修会の開催)

医療機関と介護支援専門員・介護サービス事業所職員の合同研修会・懇親会

日時：平成29年2月10日（金）

テーマ：「地域包括ケアシステムにおける医科・歯科・介護の連携」

講師：さくら歯科医院 院長 規工川 浩 氏

参加者：52人

(5) 認知症総合支援事業

①認知症サポーター養成講座開催

認知症になっても安心して暮らせるまちを目指すため、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になってもらうために、認知症サポーターを養成を実施しました。

日付	対象者	人数
6月21日	長洲中学校1年生	55人
6月26日	鷺巣区	22人
6月30日	長洲小学校6年生	35人
7月15日	清里小学校6年生	15人
10月20日	長洲町役場職員	74人
11月11日	松原区	15人
合計		216人

\*キャラバンメイトへの意向調査を行い、養成講座の開催の協力促進を図りました。

②認知症カフェの開催の支援

主催	名称	開催日
大明神区・せいわながすの里共催	オレンジカフェ「みらい」	偶数月第3（水）に開催 4月・6月・8月・10月・12月・2月
げんきの館	にじいろカフェ	平成28年7月より奇数月第3（木）開催 7月・9月・11月・1月・3月

\*2事業所で開催されている認知症カフェについて、内容の検討や当日の準備、運営に関わりながら支援をしています。

\*特別養護老人ホーム月華苑の地域貢献事業の一環として「はなカフェ」への参加を行い、地域資源の情報提供や参加者との交流を行いました。

③認知症の人に対する声かけ・搜索模擬訓練の開催

認知症の人への接し方や対応を学び、行方不明者発生時を想定した搜索・通報の訓練も合わせて行いながら、認知症の人とその家族を地域で見守り、支援の輪を広げることを目的に実施しました。

日付	内容	人数
9月25日（日）	認知症の人に対する声かけ・搜索模擬訓練 in 鷺巣	61人

	医療法人せいわ会共催	
11月13日(日)	認知症の人に対する声かけ・搜索模擬訓練 in 赤崎グループホームひまわり 21共催	40人
12月4日(日)	認知症の人に対する声かけ・搜索模擬訓練 in 大明神医療法人せいわ会共催	40人

④認知症ケアに係る研修会

介護サービス事業の所職員に向け、認知症への理解と介護技術の向上のために研修会を行うとともに、情報交換を行いました。

日付	内容	人数
7月29日(金)	講義「認知症と認知症ケアについて」 事例検討 講師：熊本県認知症介護指導者 野村 順子 氏 熊本県認知症介護指導者 小川 知成 氏	76人
10月21日(金)	講義「介護職による家族支援について」 グループワーク 講師：熊本県認知症介護指導者 野村 順子 氏 熊本県認知症介護指導者 小川 知成 氏	60人

⑤認知症初期集中支援チーム

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のより良い環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断と早期対応に向けた支援を行ないました。

\*チーム員：看護師1名、介護福祉士1名、認知症サポート医1名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
相談件数			1			4	
新規対象者				1		1	
訪問・対応				4	6	8	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数					4		9
新規対象者					2		4
訪問・対応	10	7	4	1	9	2	51

(6) 地域ケア会議の開催

個別課題を中心に、関係者や専門職、行政と共に課題解決に向けた会議を開催し、情報共有やネットワーク化を目指しています。また個別課題から地域の課題を見出すことを目指しました。

日付	内容	件数
7月15日	個別課題	1件
毎月第3木曜	介護予防ケアマネジメント	25件

(7) 長洲町介護サービス事業者連絡協議会の事務局

介護サービス提供事業者の連携と保険者である長洲町と情報交換等を行うことにより、介護保険制度の適正かつ円滑な運営に資するとともに介護サービスの質の向上を図り、会員相互の連携や情報の共有化を図るため、研修会や事例検討会の開催支援を行なっています。

①研修会等

6月13日(月)	事業所訪問(武田和典先生)事業所：通所型サービスA「げんきの館」
6月14日(火)	その人らしい生活実践ネットワーク 第1回リーダー研修 参加者：13人

8月 9日(火)	民生委員・児童委員定例会における意見交換会 参加者：7名
9月 29日(木)	第2回研修会「自立支援に向けた有意義な担当者会議の進め方」 町民研修センター 講師：大石逸子先生 参加者：56人
12月 1日(木)	その人らしい生活実践ネットワーク 新人・パート研修 参加：12名
9月～10月	介護サービス体験利用（通所系・小規模多機能居宅介護・通所型サービスA事業所）
1月 26日(木)	研修会「台風・高潮を想定して事業所・連絡協議会ができること」 ふれあいセンター 講師：長洲町役場総務課 北野 聡氏 参加者：22人
2月 3日(金)	その人らしい生活実践ネットワーク 第2回リーダー研修 参加者：12人

## ②役員会

6回開催し、事業の打ち合わせや情報共有を図っています。

## ③委員会活動

広報委員会、連絡帳作成委員会、マニュアル作成委員会、研修委員会の4つの委員会を設置し、各活動を行っています。

## 2 介護予防支援事業

要支援1・2認定者に対するケアプランを作成し、一部は地域の居宅介護支援事業所にケアプランの作成委託を行いました。

(ケアプラン作成件数)

(単位：件)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
直 営	H27年度	115	119	116	108	108	106	
	H28年度	102	96	93	97	91	87	
	増減	-13	-23	-23	-11	-17	-19	
委 託	H27年度	50	52	49	51	46	48	
	H28年度	43	43	42	42	44	40	
	増減	-7	-9	-7	-9	-2	-8	
区分		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
直 営	H27年度	105	105	98	99	98	109	1,286
	H28年度	91	94	94	92	90	93	1,120
	増減	-14	-11	-4	-7	-8	-16	-166
委 託	H27年度	47	47	43	43	43	45	564
	H28年度	38	35	33	37	36	34	467
	増減	-9	-12	-10	-6	-7	-11	-97

\*委託の居宅介護支援事業所：15事業所

(町内4事業所、荒尾市2事業所、玉名市5事業所、福岡県4事業所)

## 3 生活支援体制整備事業

### (1) 生活支援体制整備事業

#### ①介護予防リーダーの養成

講師：有明圏域リハビリテーション広域支援センター

理学療法士 北尾昌平氏・寺本さおり氏・宮本彰吾氏／3名

#### a 養成講座内容

日 付	内 容
第1回 8月10日(水)	1. 介護予防の基礎知識 ・長洲町の現状、リーダーの役割について

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅活動、近助活動をすること</li> </ul> 2. くまもとホクホク体操（音楽 Ver.）
第2回 8月24日（水）	1. 元気作りの基礎知識 ～ロコモ、メタボ、認知症を予防するために～ <ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢を重ねることと生活習慣病について</li> <li>・運動の体と頭への効果</li> </ul> 2. くまもとホクホク体操（前半）
第3回 9月14日（水）	1. 元気作りの基礎知識～体操をより有効に実施するために～ <ul style="list-style-type: none"> <li>・膝の痛みの予防（膝と腰に着目して）</li> <li>・地域と自分と活動について（生活習慣と行動変容）</li> </ul> 2. くまもとホクホク体操（後半）
第4回 9月27日（水）	1. 現場で学ぼう 現場実習の場所：げんきの館、コスモス通所リハビリテーション
第5回 10月12日（水）	1. 安心・安全に体操をするために ～リーダーさんにご協力頂きたいこと～           2. くまもとホクホク体操の実践と応用
第6回 10月26日（水）	1. 自分を知るための体力測定～将来の自分をデザインするために～           2. くまもとホクホク体操の実践と応用           3. 町長からのメッセージ

#### b 準備講座

日 付	内 容
11月2日（水）	1. 班編成・班長の発表（2つの班に編成します） 2. 活動する行政区の発表 3. 地域での「元気あっぷ体操」を行うために（質疑応答） 4. 班ミーティング
11月16日（水）	①：地域の公民館を見て、活動のイメージを掴む。（現地集合）
12月7日（水）	②：シュミレーションとミーティング（げんきの館） 実際に地域の方を対象とした実技を、げんきの館の利用者さんを対象にして、体操の行程を実施。その際のリーダー役、サブリーダー役などの動きを確認し、班員で反省会を実施。

#### c 元気あっぷ体操教室活動状況

介護予防リーダー養成講座終了されて、14人の方が「元気あっぷリーダー」として地域の公民館等で体操の指導を実施しています。

- ・A班：リーダー7人：第1・3（月）鷺巣公民館 第2・4（月）赤崎公民館
- ・B班：リーダー7人：毎週（火）長洲町町民研修センター

（単位：人）

	日 付	会 場	リーダー数	参加者	うち、新規者
A班	1月16日	鷺巣公民館	5	10	10
	2月6日		6	11	3
	2月20日		6	8	3
	3月6日		5	9	0
	1月23日	赤崎公民館	4	14	14
	2月13日		5	18	4
	2月27日		4	14	2
	3月13日		5	18	3

	3月27日		3	15	0
B班	1月17日	町民研修センター	6	26	26
	1月24日		6	14	1
	1月31日		5	13	1
	2月7日		5	11	1
	2月14日		3	15	2
	2月21日		5	16	3
	2月28日		4	11	0
	3月7日		1	12	0
	3月14日		3	14	1
	3月21日		5	16	2
	3月28日		3	14	1
	参加者延べ人数				279

②通所型サービスA事業利用者卒業支援

通所型サービスA事業のプログラムを受けることで、利用者の身体状況や生活能力など自助力が向上すると同時に、必要な方へ家族や地域とのつながりを支援し、自宅や地域での生活が安心して継続できるように支援しました。

③介護予防拠点施設等での介護予防に関する啓発活動

地域の介護予防拠点施設等を訪問し、げんきの館の役割や活動内容及び活用方法等を説明し、早い段階での介護予防への認識と閉じこもり予防の啓発活動を行いました。

(2) 一般高齢者予防事業

①一般高齢者への介護予防教室の開催

各回の教室開催ポスターを作成して、町内の商店及び総ての公民館に掲示し、戸町民に「げんきの館」での活動内容とその役割をPRしました。

また、一般高齢者を対象とした各種活動に年間1,365人の方が利用されました。

(単位：人)

教室名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
童謡教室	6	7	3	24	9	4	11	5	14	6	7	6	102
書道教室	4	7	10	16	8	12	12	8	6	13	13	12	121
小物作り教室	8	9	10	10	8	6	10	21	9	11	19	17	138
ボールウォーキング教室①	8	9	9	6	4	4	休み	3	4	1	4	6	58
絵画教室①	8	8	6	7	5	5	3	4	3	4	6	6	65
絵画教室②	9	5	7	6	8	9	3	4	3	7	7	5	73
パン作り教室①	6	11	10	9	10	6	10	9	10	7	6	12	106
健康ダンス	8	8	6	6	6	8	6	6	3	5	5	12	79
読み聞かせ	8	0	1	10	0	2	13	11	3	1			49
認知症予防料理教室		6	8	12	7	6	5	6	9	9	9	11	88
病院のかかり方		11											11
健口教室		8	9										17
卓球教室①			12	13	9	休館	5	5	6	休み	7	8	65
卓球教室②			6	12	8	6	4	4	7	3	11	9	70

ポールウォーキング 教室②				10	4	7	休み	3	3	5	5	18	55
パン作り教室②					6	休館	9	9	6	11	13	11	65
フットケア					30								30
楽しい英会話						14	11	5	6	3	4	3	46
キレイな腸から健康づくり							48						48
レクリエーション体操									3	15	11	11	40
紙あそび										12	14	13	39
賢い消費者になる為の教室												25	25
	65	89	97	141	122	89	150	103	95	113	141	185	1,390

②認知症カフェ「にじいろカフェ」の開催（7月より奇数月第3（木））（単位：人）

	日付	参加者	ボランティア	主な内容
1	7月21日	24	4	ビンタ焼きを作って食べよう
2	9月15日	30	5	うたごえ喫茶
3	11月17日	20	4	ミニオリンピック
4	1月19日	26	6	紙芝居・脳トレ
5	3月16日	15	4	レクリエーション体操・私だけのカップケーキ作り

#### 4 介護予防ケアマネジメント事業

介護予防・日常生活支援総合事業におけるサービス利用希望者へのケアプラン作成を行いました。

（ケアプラン作成件数）

（単位：件）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
105	106	109	109	106	111	128	131	130	131	125	129	1,420

#### 5 通所型サービスA事業

介護予防・日常生活支援総合事業における通所型サービスA事業を実施しました。

高齢者支援施設「げんきの館」において、利用者の基本情報を基に、住み慣れた地域での生活が継続できるように、一人ひとりの利用者のニーズに合ったサービスを提供するため、地域や各関係機関、専門職とのネットワーク体制を図りながら、予防的視点を重視して、自助力・互助力の向上につながるための支援に努めました。

○循環型サービスの仕組みづくりとして、自助・互助の機能を高められるようなサービス内容の工夫に努めました。

○介護サービスからの卒業（自立支援）に向けて、各関係機関と連携し、協働的・一体的な取り組みに努めました。

○利用者の趣味や特技を活かせる内容として、「趣味活動」の場を提供し、利用者同士の相互の「教え合い、学び合う」関係づくりができるよう、より一層の生きがいつくりの提供に努めました。

○社会参加を推進するとともに、自分が住んでいる地域との絆を深めてもらうために、ご本人が持っている能力を維持継続できるように支援しました。

## (1) 具体的な提供プログラム

### ①運動機能向上プログラム

- a 有明地域リハビリテーション広域支援センターと連携し、「くまもとホクホク体操」を導入し、運動機能評価データを作成。データ収集及び評価を3ヶ月毎に実施しました。
- b 利用者を地域活動につなげられるよう、少しずつ、自宅でも簡単にできる健康体操の継続に努め、それを含めた個別評価を実施し、その評価結果を基に個々の利用者への個別プログラムを検討しプログラムへ反映しました。

### ②認知症予防プログラム

- a 認知症予防活動では、脳トレ用プリントやウォーキング、シナプソロジー等を実施。3ヶ月毎に評価を行ないました。

### ③個別プログラム

- a 一般高齢者事業（介護予防教室）への自己選択による参加を支援しました。
- b 利用者の趣味・特技を活かせる場の提供で、利用者の役割や生きがいづくり及び利用者同士の教え合いで相互の関係づくりができました。
- c 菜園をつくり、利用者による苗や種（大葉・トマト・南瓜・大根・じゃがい・玉ねぎ）にて還元しました。

### ④セルフケア確認による健康意識の向上プログラム

- a 月カレンダー（げんきカレンダー）の活用を行い生活習慣の改善に向け、一人ひとりの日常生活の状況把握や生活目標及び生活上の留意点などの確認を行ないました。
- b 血圧や体重のコントロールに注意する必要がある利用者へは、昼食を提供する時に減塩の指導を行ったり、自宅での食事内容の記録を実施してもらい、食生活の工夫などでコントロールし、自己管理の能力向上を支援しました。

### ⑤地域との交流活動プログラム

- a 地域住民による慰問（神楽披露・敬老会演芸など）をお願いし、町内にある他事業所からの参加もあり、交流が図れました。
- b 町内保育所および幼稚園園児、腹赤小学校児童との世代間交流活動を実施しました。
- c 長洲こどもの海保育園児との交流として「げんきの日」を設け、月1回開催しました。
- d 地域支援課開催の「ミニ子どもデイサービス」を夏休み期間中に、げんきの館で開催し、参加者との交流が図れました。
- e 地域より花苗の提供を受け、利用者による植付やその後の手入れなどの活動につながりました。
- f 折り紙制作などの趣味活動をとおして、鯉のぼりの箸入れを他事業所へ配布し、利用者同士のつながりと地域貢献に向けての取組む支援ができました。
- g 利用者によるアクリルたわしやペットボトル入れ制作などで、世代間交流時などをとおして、地域貢献に取組む支援ができました。

### ⑥地域ケア会議の開催

総合事業の利用者の事例検討において、毎月地域ケア会議を開催し、支援方法をケアプランナーと事業所、包括、地域リハ、町行政のそれぞれの立ち位置で協議し、支援につなげることができました。

## (2) 利用状況

(単位：人)

月	開所 日数	実 利用者	(内 訳)		新規者	延 利用者	一日 平均
			要支援1・2認定者	基本チェックリスト該当者			
4月	21日	45	3(新規3)	42(新規4)	7	155	7.1
5月	22日	48	4(新規1)	44(新規4)	5	168	7.6
6月	22日	54	4(新規1)	51(新規7)	8	183	8.3
7月	21日	51	4(新規1)	47(新規1)	2	185	8.8
8月	23日	52	5(新規1)	47(新規3)	4	194	8.4
9月	20日	59	6(新規1)	53(新規5)	6	201	10.1
10月	21日	72	8(新規4)	64(新規10)	14	241	11.5
11月	22日	74	8(新規1)	66(新規4)	5	280	12.7
12月	20日	74	7(新規1)	67(新規5)	6	256	12.8
1月	20日	74	10(新規1)	64(新規5)	6	244	12.2
2月	20日	73	10(新規0)	63(新規5)	5	248	12.4
3月	23日	75	12(新規3)	63(新規0)	3	298	13.0
年間	255日	751				2,653	10.4

年間登録者実人数 108人